

—— Driving Value Creation ——
**2019年3月期第2四半期
決算説明会資料**



MITSUI & CO.

2018年10月30日
三井物産株式会社

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。こうしたリスク、不確実性及びその他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

目次

1 中期経営計画の進捗状況

2 経営成績の詳細

3 補足資料

4 セグメント別データ

1 中期経営計画の進捗状況

経営成績サマリー

- 原油・ガス価格の上昇を主因にエネルギー好調
- 非資源分野も予定通りの進捗、中核以外の分野でも安定的な収益基盤の構築に目途

(単位：億円)

	2018年3月期 上半期実績	2019年3月期 上半期実績	増減	2019年3月期 事業計画	進捗率
当期/上半期利益	2,383	2,229	▲154	4,200	53%
基礎営業キャッシュ・フロー ^{*1}	3,046	3,164	+118	5,700	56%
フリー・キャッシュ・フロー ^{*2}	2,067	552 ^{*3}	▲1,515	—	—

*1. 営業活動に係るキャッシュ・フロー (19/3期上半期: 1,617億円) - 運転資本の増減に係るキャッシュ・フロー (19/3期上半期: ▲1,547億円)

*2. 運転資本及び定期預金の増減の影響を除外したフリー・キャッシュ・フロー

*3. 19/3期より、従来運転資本と認識していた一部のリース取引に係るキャッシュ・フローを会計上投資キャッシュ・フローとして認識するも、

当該要素 (キャッシュ・イン297億円、キャッシュ・アウト249億円) は除外して計算

通期業績予想： 利益、基礎営業キャッシュ・フロー共に上方修正し、当期利益は史上最高へ

■ **当期利益 4,500億円 (+300億円)、基礎営業キャッシュ・フロー6,000億円 (+300億円)**

株主還元： 年間配当金を一株当たり80円に増額 (事業計画比+10円)、中間配当は40円

→ 株主還元総額は約1,400億円

重点施策 強固な収益基盤づくり／新たな成長分野の確立

中核分野

- 金属資源・エネルギー： 原油・ガス価格の上昇やLNG配当金の増加によりエネルギー事業好調、金属資源も概ね計画通り
- 化学品： Novusメチオニン価格低迷するも、メタノール事業好調

当期/上半期利益

	上半期実績	事業計画	進捗率
金属資源・エネルギー	1,257	2,400	52%
機械・インフラ	371	850	44%
化学品	164	400	41%
中核分野 合計	1,792	3,650	49%
全社 合計	2,229	4,200	53%

基礎営業キャッシュ・フロー

(単位：億円)

上半期実績	事業計画	進捗率
2,026	3,800	53%
314	850	37%
300	550	55%
2,640	5,200	51%
3,164	5,700	56%

成長分野

上半期実績

案件名

当社狙い

ヘルスケア	■ 米国Thorne社への出資参画合意	高機能サプリメント事業の拡大
ニュートリション・アグリカルチャー	■ メキシコAdelnor社への出資参画合意	米州農業資材Distribution事業拡充
	■ タイKSP社増産及びシンガポールSIS社への出資参画合意	アジアにおける高品質砂糖ニーズへの対応
リテール・サービス	■ MRE社によるサービス付きシニア向け住宅取得	米国におけるシニア住宅事業強化

重点施策 キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

キャッシュ・フロー・アロケーション実績（2019年3月期上半期）

- 基礎営業キャッシュ・フローは順調に拡大、株主還元強化を決定

		2018年3月期 年間実績	2019年3月期 上半期実績	1.5年間累計 (2018年3月期～ 2019年3月期上半期)	3年間累計 (2018年3月期～ 2020年3月期)
キャッシュ・イン	基礎営業キャッシュ・フロー*1...①	6,700億円	3,150億円	9,850億円	19,000億円
	資産リサイクル...②	3,000億円	1,300億円	4,300億円	7,000億円
キャッシュ・アウト	投融資...③	▲5,600億円	▲3,900億円	▲9,500億円	▲17,000～▲19,000億円
	株主還元...④	▲1,725億円	▲700億円	▲2,425億円	▲4,100億円*2
株主還元*2後のフリー・キャッシュ・フロー*3 ...①+②+③+④		2,375億円	▲150億円	2,225億円	2,900～4,900億円

*1. 営業活動に係るキャッシュ・フロー - 運転資本の増減に係るキャッシュ・フロー

*2. 最終年度は下限配当（1,000億円）のみ算入

*3. 運転資本及び定期預金の増減の影響を除外したフリー・キャッシュ・フロー
 今期より、従来運転資本として認識していた一部のリース取引に係るキャッシュ・フローを会計上投資キャッシュ・フローとして認識するも、当該要素は本表からは除外して計算

経営判断による配分

追加株主還元

有利子負債の返済

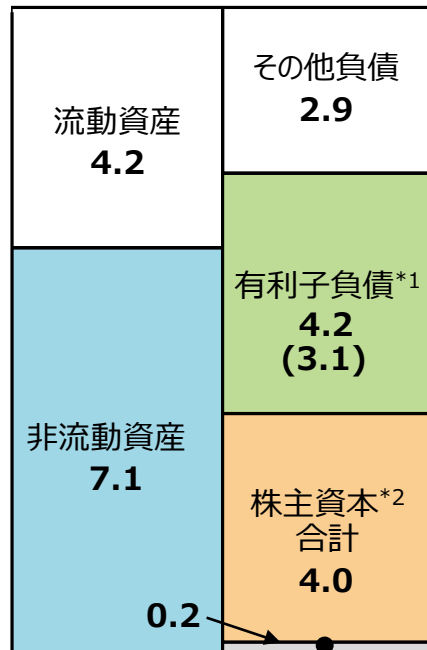
追加投資

重点施策 キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

バランスシート

(単位：兆円)

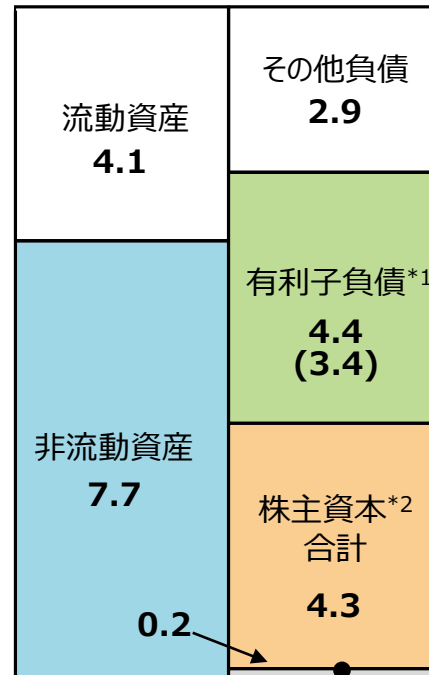
18/3



非支配持分

総資産	11.3兆円
株主資本	4.0兆円
Net DER	0.78倍

18/9



非支配持分

総資産	11.8兆円
株主資本	4.3兆円
Net DER	0.79倍

主な増減

ネット有利子負債 (18/3末比 : +2,831億円)

株主資本 (18/3末比 : +3,054億円)

- ・ 四半期利益 : +2,229億円
- ・ 外貨換算調整勘定 : +244億円
- ・ FVTOCIの金融資産 : +1,072億円
- ・ 配当金の支払 : ▲695億円
- ・ その他 : +204億円

*1. 有利子負債のカッコ内数字は、ネット有利子負債

*2. 本資料では「親会社の所有者に帰属する持分」を、株主資本と表記しています。



MITSUI & CO.

2019年3月期 業績予想（修正）

- 原油・ガス価格の上昇と堅調な非資源分野の進捗を踏まえ、業績予想を上方修正

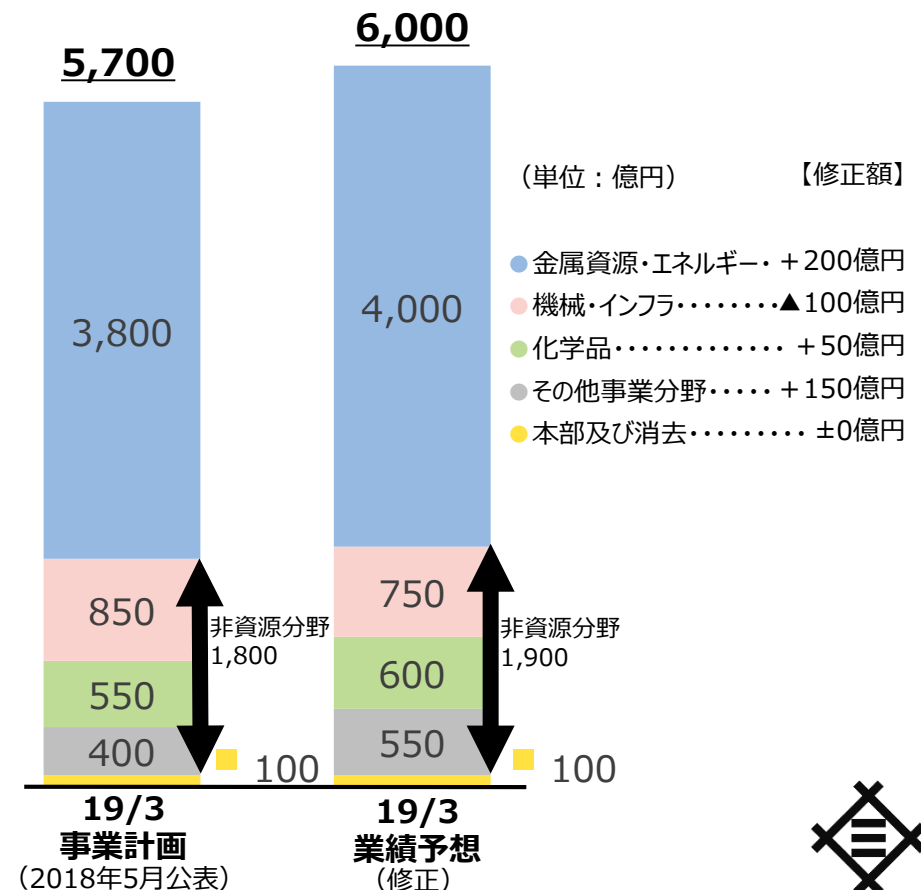
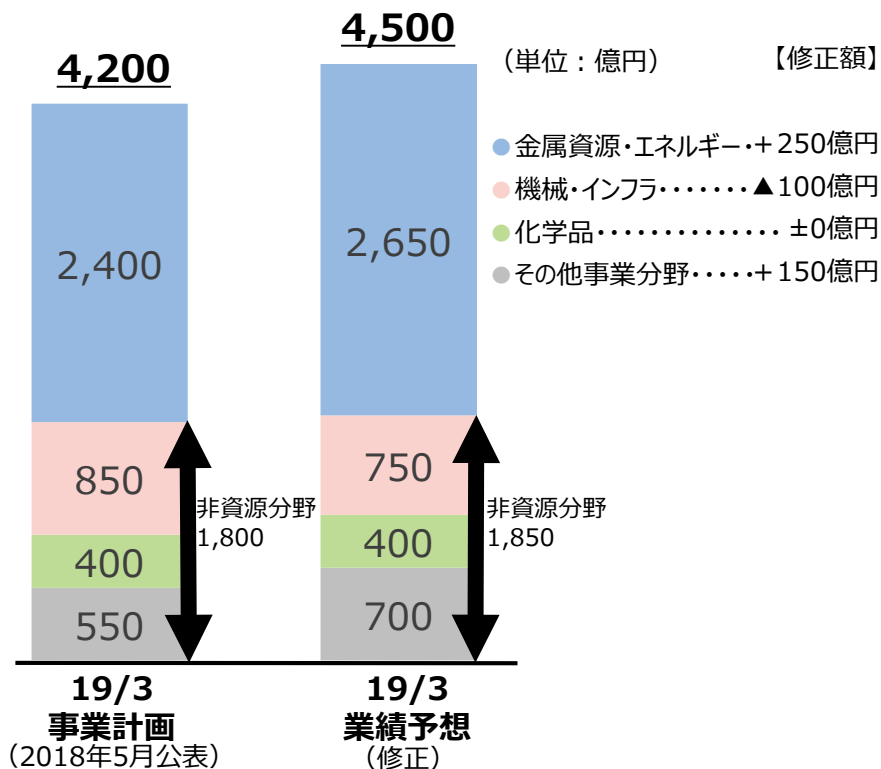
当期利益： 4,500億円（事業計画比 +300億円）

基礎営業キャッシュ・フロー： 6,000億円（事業計画比 +300億円）

- 非資源分野の当期利益は1,850億円、基礎営業キャッシュ・フローは1,900億円に上方修正

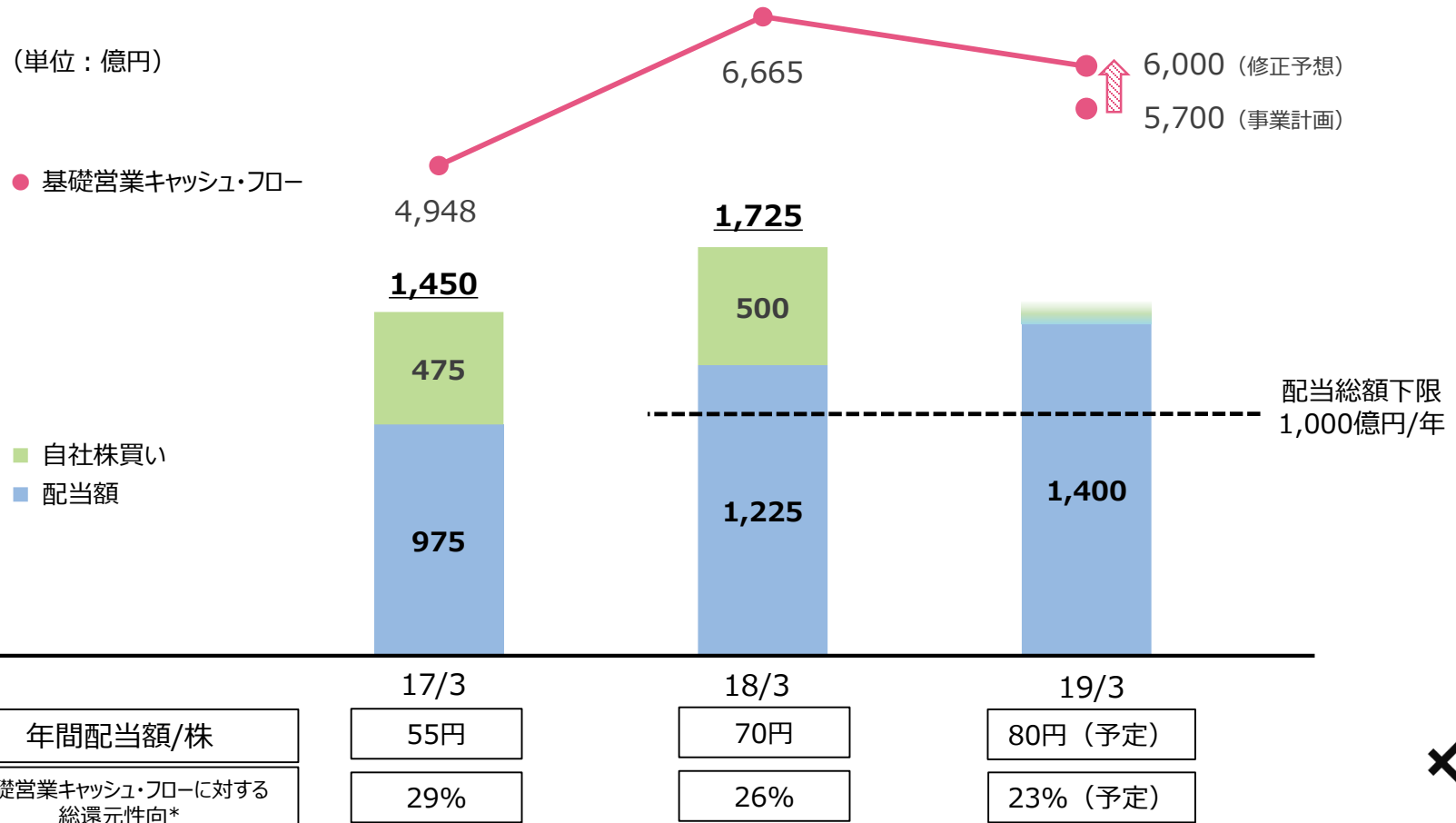
【当期利益】

【基礎営業キャッシュ・フロー】



株主還元方針

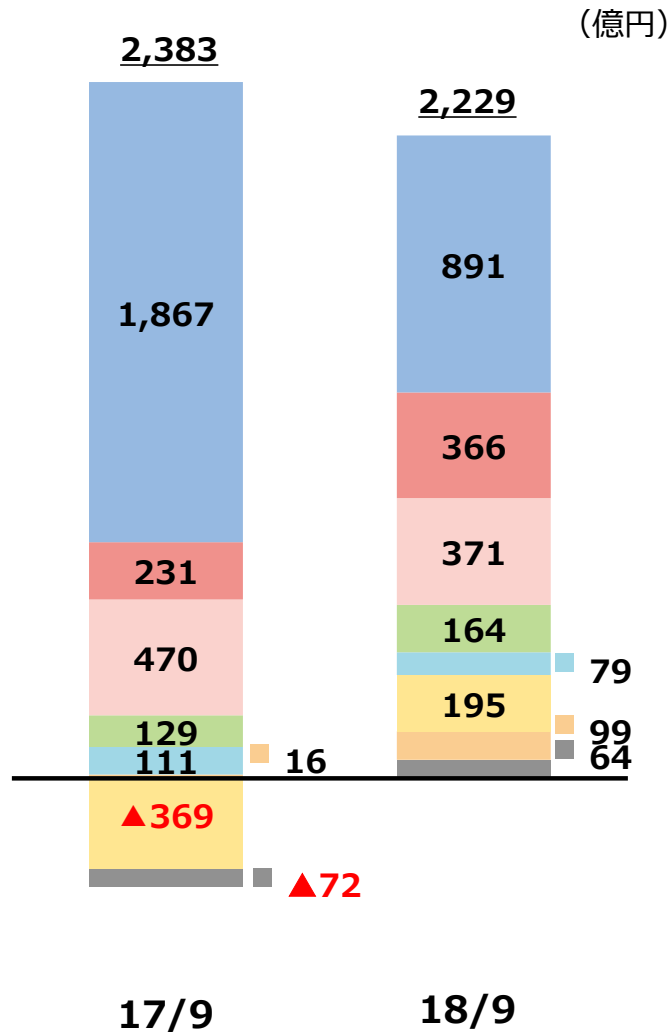
- 2019年3月期の予想配当金を一株当たり80円に増額（計画比+10円、前期比+10円）
- 中間配当金は一株当たり40円
- 業績の向上を通じた配当金額の継続的増加と、2020年3月期ROE 10%達成の為の施策を継続



2 経営成績の詳細

上半期利益 セグメント別前年同期比 増減要因

■ 上半期利益2,229億円、前年同期比▲154億円

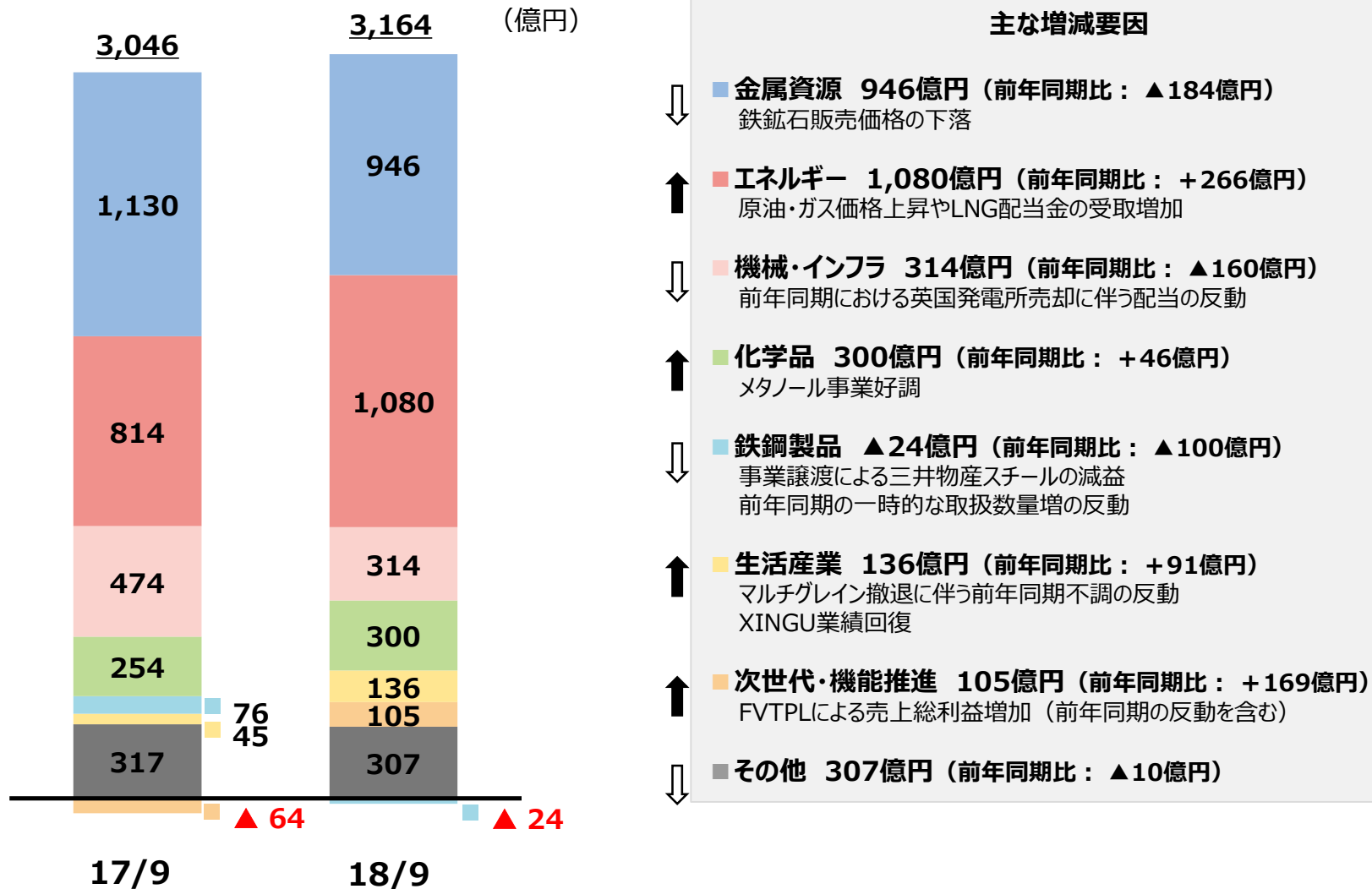


主な増減要因

- ↓ **金属資源 891億円 (前年同期比: ▲976億円)**
前年同期におけるValepar再編に伴う評価益の反動
鉄鉱石販売価格の下落による豪州鉄鉱石事業の減益
- ↑ **エネルギー 366億円 (前年同期比: +135億円)**
原油・ガス価格の上昇やコスト減少を主因に三井石油開発増益
LNG配当金の受取増加
- ↓ **機械・インフラ 371億円 (前年同期比: ▲99億円)**
前年同期における英国発電所の売却益の反動
- ↑ **化学品 164億円 (前年同期比: +35億円)**
メタノール事業好調
- ↓ **鉄鋼製品 79億円 (前年同期比: ▲32億円)**
前年同期の一時的な取扱数量増の反動
日鉄住金物産の持分法適用会社化による増益
- ↑ **生活産業 195億円 (前年同期比: +564億円)**
マルチグレイン撤退に伴う前年同期損失の反動及び当期における
引当金の一部取崩益
- ↑ **次世代・機能推進 99億円 (前年同期比: +83億円)**
前年同期の新興国における携帯通信事業FVTPL損失の反動
- ↑ **その他 64億円 (前年同期比: +136億円)**
前年同期におけるDTA取崩の反動

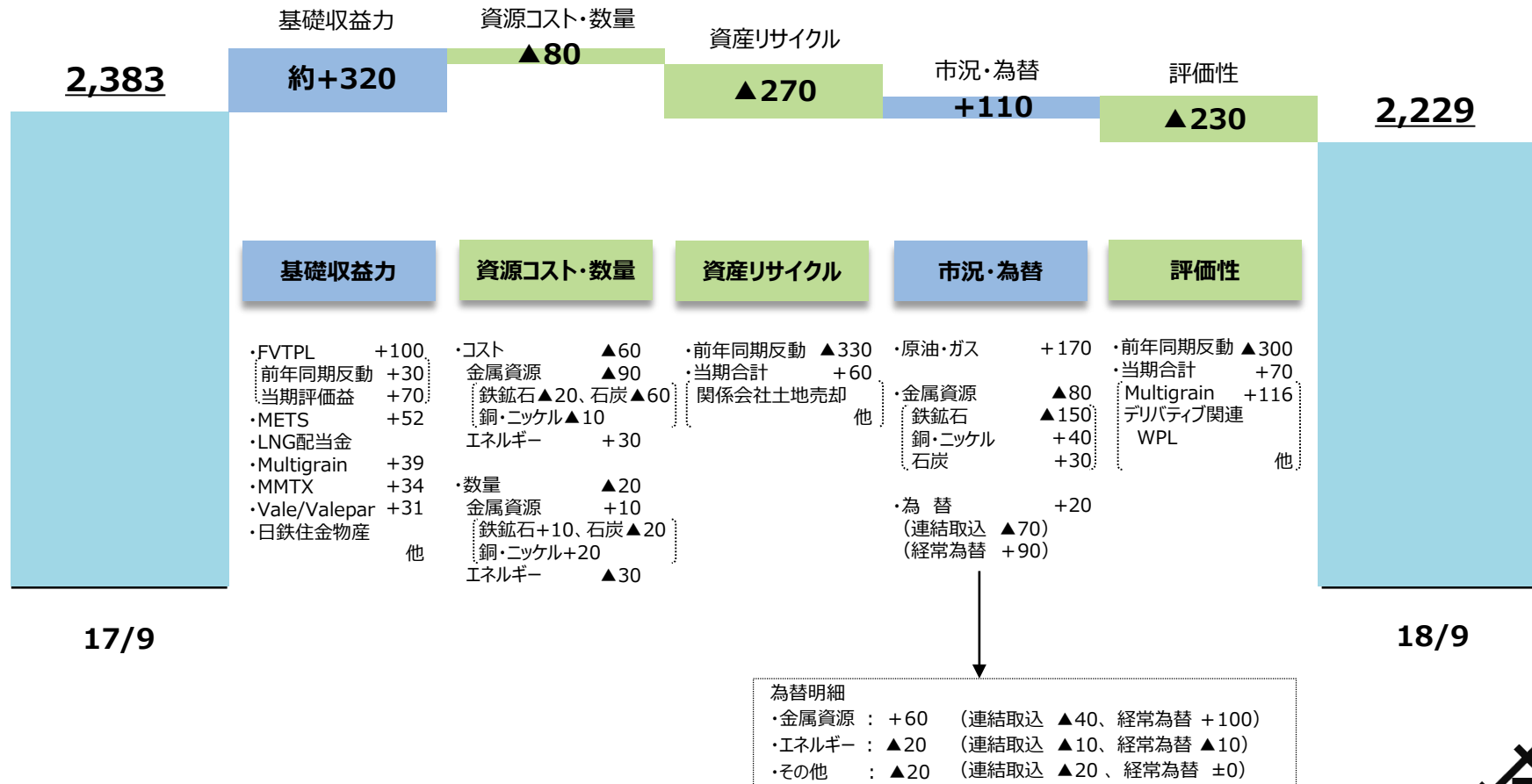
基礎営業キャッシュ・フロー セグメント別前年同期比 増減要因

■ 基礎営業キャッシュ・フロー 3,164億円、前年同期比+118億円



上半期利益 要素別増減要因

(単位：億円)



重点施策 キャッシュ・フロー経営の深化と財務基盤強化

資産リサイクル・投融資実績*1（2019年3月期上半期）

- 資産リサイクルは着実に進展
- 投融資は中核分野に64%、成長分野に33%を配分

	金額	主な案件*3
資産リサイクル*2	1,300億円	【鉄鋼製品】日鉄住金物産への事業譲渡 【生活産業】 ニュージーランド乳製品製造・販売会社の株式売却、MIMS株式売却
投融資*2	▲3,900億円	主な案件*3
中核分野 (含む成長分野との重複300億円)	▲2,500億円	【金属資源】豪州鉄鉱石・石炭事業 【エネルギー】豪州AWE社株式公開買付け、タイ沖石油・ガス開発事業 【機械・インフラ】石油製品輸送船保有会社出資、 モロッコ発電事業向け融資、ブラジルFPSO
成長分野 (含む中核分野との重複300億円)	▲1,300億円	【モビリティ】チリオペレーティングリース・レンタカー事業出資 【N&A】ETC Group出資、 東南アジア総合食品事業会社株式取得 【リテール・サービス】 MREシニア住宅取得
その他	▲400億円	

*1. 今期より、従来運転資本として認識していた一部のリース取引に係るキャッシュ・フローを会計上投資キャッシュ・フローとして認識するも、当該要素は本表からは除外して計算

*2. 定期預金の増減は除く

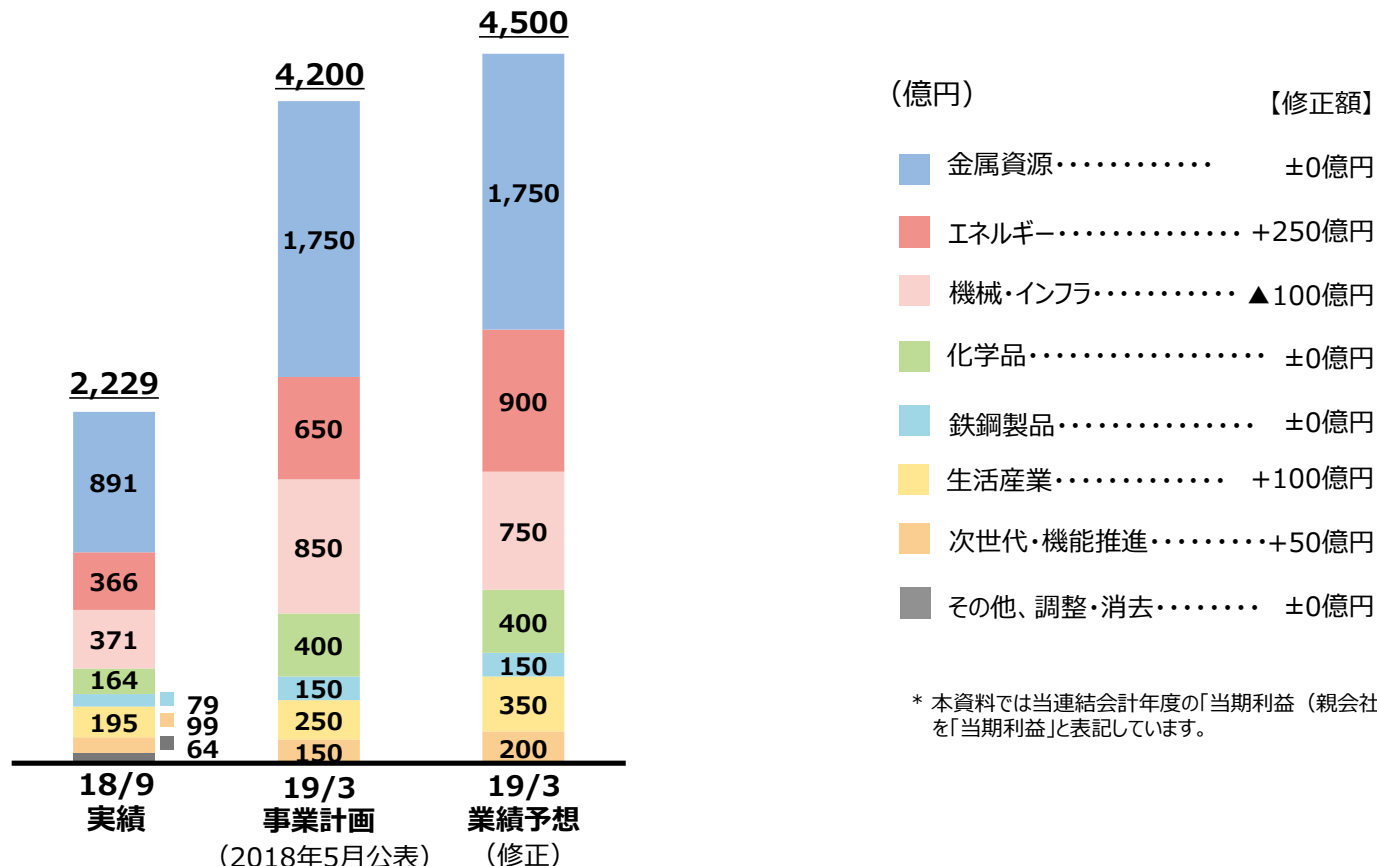
*3. 青字は、第2四半期に新たに資産リサイクルにより資金獲得、または投融資を実行した案件。
各案件の金額については4.セグメント別データをご参照ください

2019年3月期 業績予想（修正）

当期利益*：4,500億円に上方修正（事業計画比 +300億円）

<主なセグメント別の修正額及び理由>

■ エネルギー	:	+250億円	原油・ガス価格上昇
■ 生活産業	:	+100億円	マルチグレイン関連引当金の一部取崩益
■ 機械・インフラ	:	▲100億円	一部地域での鉄道・自動車関連事業の下振れ



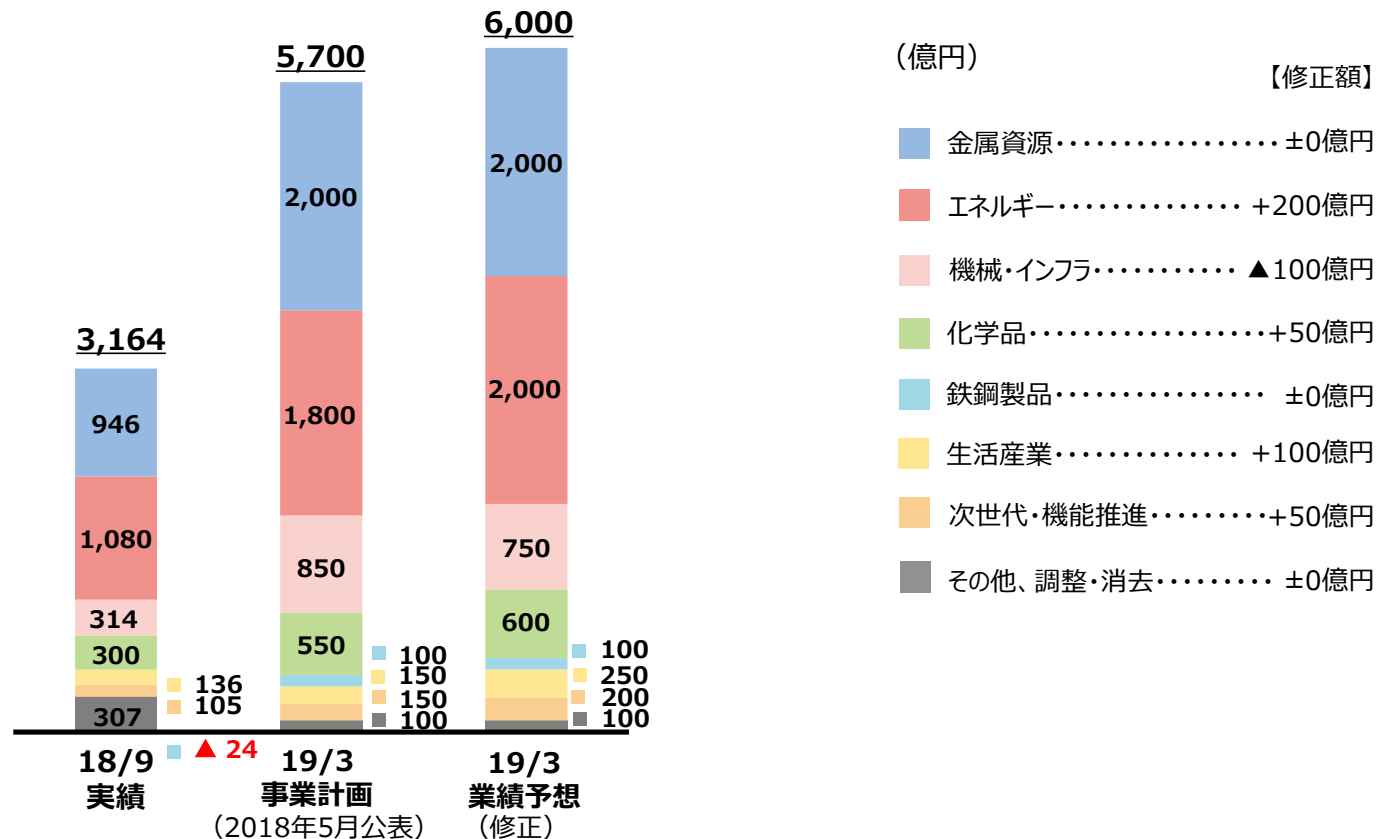
* 本資料では当連結会計年度の「当期利益（親会社の所有者に帰属）」を「当期利益」と表記しています。

2019年3月期 業績予想（修正）

基礎営業キャッシュ・フロー：6,000億円に上方修正（事業計画比 +300億円）

<主なセグメント別の修正額及び理由>

- エネルギー : +200億円 原油・ガス価格上昇
- 生活産業 : +100億円 マルチグレイン撤退費用減少、ブラジル農業事業好調
- 機械・インフラ : ▲100億円 インフラ事業における一部案件の遅れ



3 補 足 資 料

前提条件および感応度

価格変動の19/3期当期利益 への影響額 (2018年5月公表)			19/3事業計画 (2018年5月公表)	19/3上半期 (実績)	19/3下半期 (前提)	19/3通期予想 (上・下平均値)
市況商品	原油/JCC	—	59	74	69	71
	連結油価 (*1)	29 億円 (US\$1/バレル)	61	67	72	70
	米国ガス(*2)	5 億円 (US\$0.1/mmBtu)	3.00	2.84(*3)	2.93(*4)	2.88
	鉄鉱石	23 億円 (US\$1/トン)	(*5)	66.0(*6)	(*5)	(*5)
	銅	10 億円 (US\$100/トン)	7,000	6,916(*7)	6,500	6,708
為替 (*8)	米ドル	26 億円 (¥1/米ドル)	110.00	110.71	110.00	110.35
	豪ドル	17 億円 (¥1/豪ドル)	85.00	81.79	80.00	80.90
	伯リアル	7 億円 (¥1/伯リアル)	33.00	29.02	30.00	29.51

(*1) 原油価格は0～6ヶ月遅れで当社連結業績に反映されるため、この期ずれを考慮した連結業績に反映される原油価格を連結油価として推計している。
19/3期には51%が4～6ヵ月遅れで、40%が1～3ヵ月遅れで、9%が遅れ無しで反映されると想定される。上記感応度は、連結油価に対する年間インパクト。

(*2) 当社が米国で取り扱う天然ガスはその多くがHenry Hub (HH) に連動しない為、上記感応度はHH価格の変動に対するものではなく、加重平均ガス販売価格に対するインパクト。

(*3) 米国ガスの19/3期上半期実績欄には、2018年1月～6月のNYMEXにて取引されるHenry Hub Natural Gas Futuresの直近限月終値のdaily平均値を記載。

(*4) HH連動の販売価格は、HH価格US\$2.93/mmBtuを前提として使用している。

(*5) 鉄鉱石の前提価格は非開示。

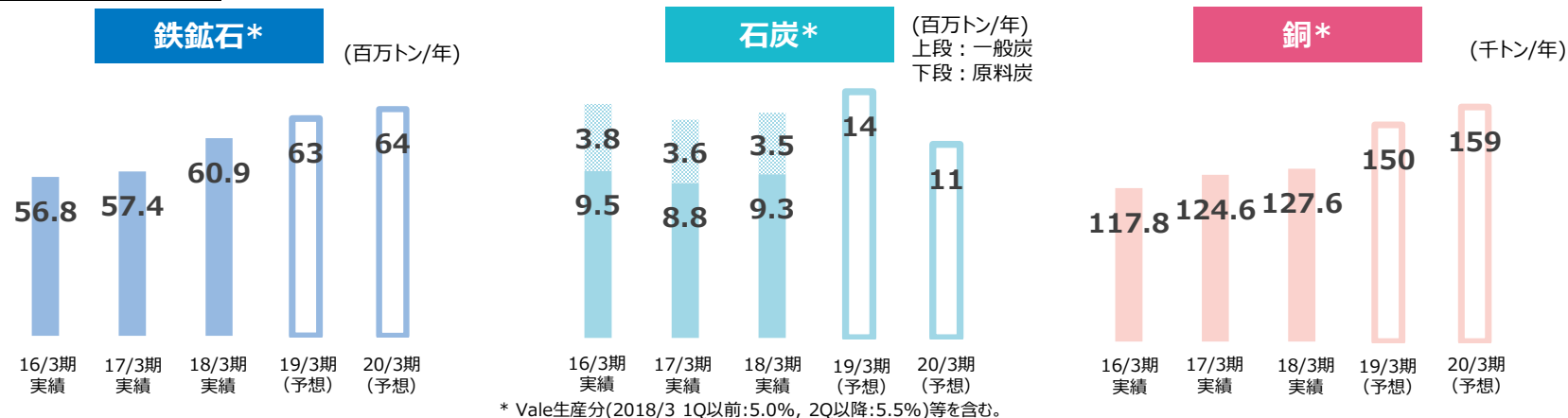
(*6) 鉄鉱石の19/3期上半期実績欄には、2018年4月～9月の複数業界紙によるスポット価格指標Fe 62% CFR North Chinaのdaily平均値（参考値）を記載。

(*7) 銅の19/3期上半期実績欄には、2018年1月～6月のLME cash settlement priceのmonthly averageの平均値を記載。

(*8) 上記感応度は、各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期利益に対するインパクト。円安は機能通貨建て当期利益の円貨換算を通じて増益要因となる。
金属資源・エネルギー生産事業における販売契約上の通貨である米ドルと機能通貨の豪ドル・伯リアルの為替変動、及び為替ヘッジによる影響を含まない。

金属資源：持分権益生産量および生産量実績

持分権益生産量 (2018年5月公表)



生産量実績

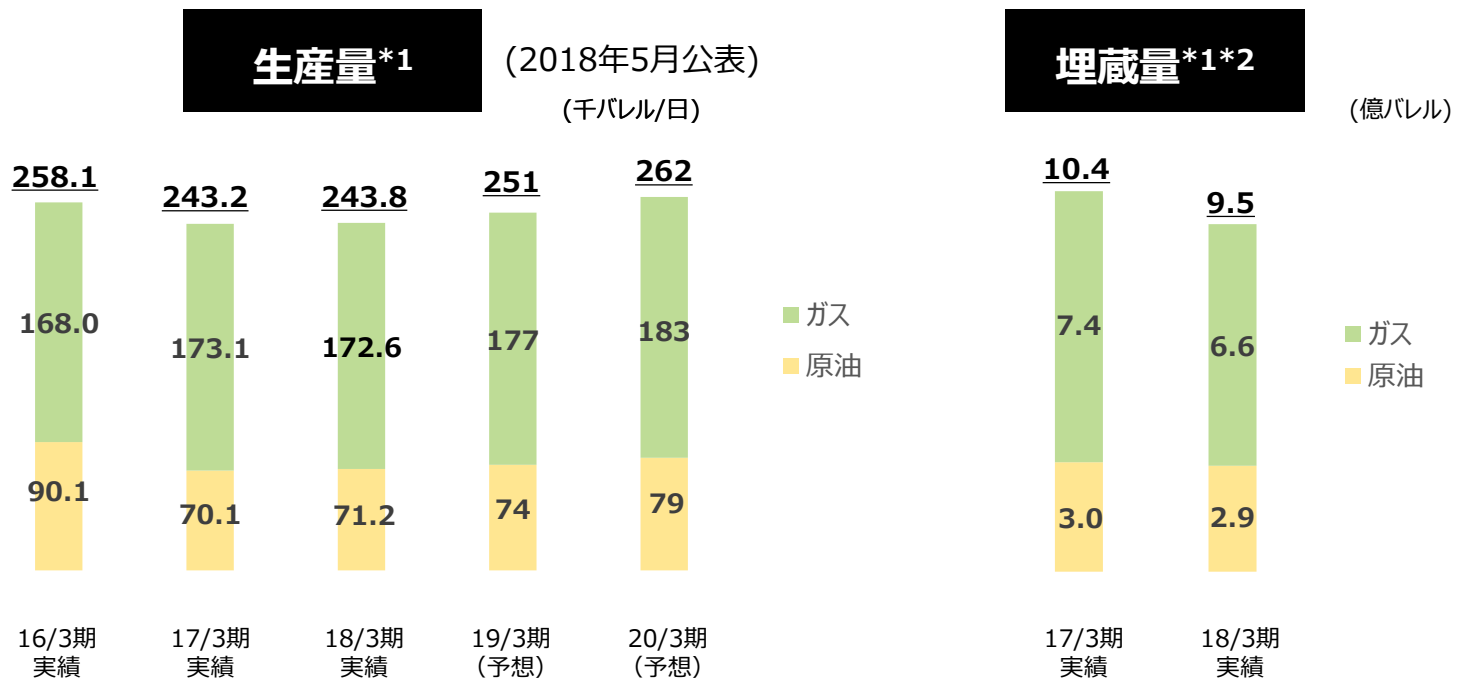
	2018年3月期					2019年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	累計
鉄鉱石 (百万トン)	14.3	15.3	15.9	15.4	60.9	14.8	15.3	30.1
豪州鉄鉱石	10.0	10.3	10.7	10.3	41.3	10.3	10.0	20.3
Vale*1	4.3	5.0	5.2	5.1	19.6	4.5	5.3	9.8
石炭*2 (百万トン)	3.1	3.5	3.2	3.0	12.8	3.1	3.5	6.6
MCH	2.1	2.4	2.0	1.7	8.2	2.1	2.1	4.2
BMC*1	0.4	0.4	0.4	0.5	1.7	0.5	0.6	1.1
原料炭	1.9	2.1	1.7	1.7	7.4	2.0	2.0	4.0
一般炭	0.6	0.7	0.7	0.5	2.5	0.6	0.7	1.3
Moatize*1	0.3	0.4	0.5	0.4	1.6	0.3	0.4	0.7
銅*1, 2 (千トン)	32.2	28.4	33.5	33.5	127.6	36.5*3	35.8	72.3

*1 Vale、BMC、Moatize及び銅は1Q:1-3月、2Q: 4-6月、3Q: 7-9月、4Q: 10-12月の実績

*2 Vale生産分(2018/3 1Q以前:5.0%, 2Q以降:5.5%)等を含む。

*3 2018年10月修正(1Q:36.0→36.5)

エネルギー：原油・ガス持分権益生産量および埋蔵量



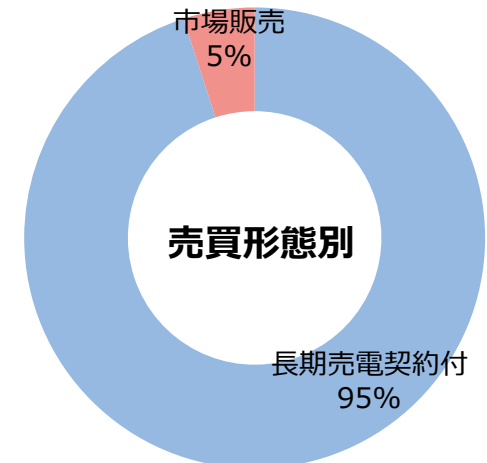
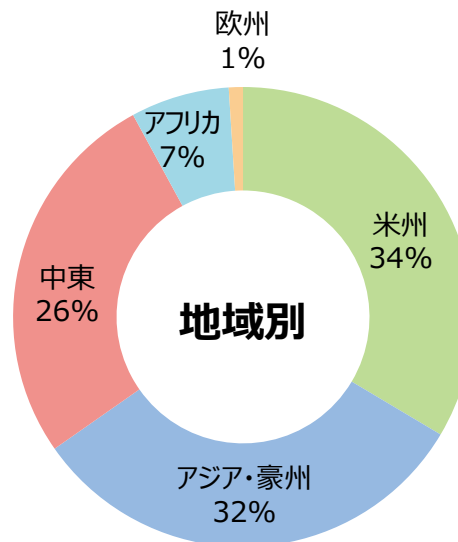
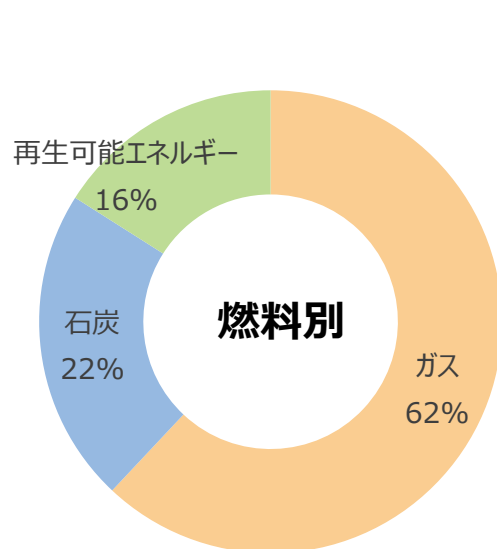
*1. 石油換算
当社連結子会社・関係会社・非連結先の当社権益保有見合い

*2. 当社独自の基準による

機械・インフラ：発電事業ポートフォリオ

当社持分発電容量（ネット）：**9.1GW**
（グロス容量：34GW）

2018年9月末現在



4 セグメント別データ

金属資源

PAT、CF共に据置き

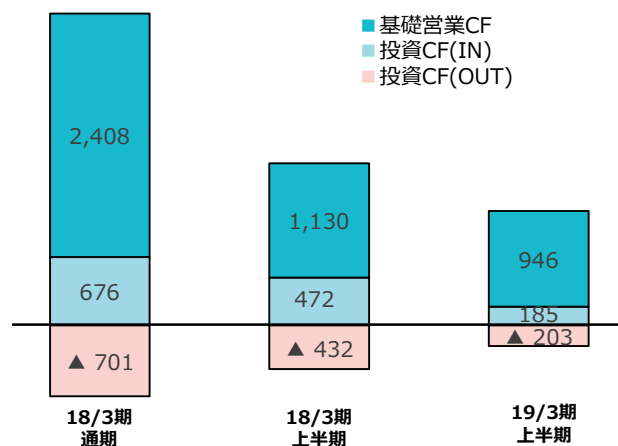
(単位：億円)

業績	18/3期 上半期	19/3期 上半期	増減	19/3期 修正通期予想	進捗率*2	19/3期 事業計画	増減理由
四半期利益	1,867	891	▲976	1,750	51%	1,750	
売上総利益	1,157	906	▲251				↓豪鉄鉱石（鉄鉱石販売価格下落） ↓豪石炭（コスト上昇）
持分法損益	342	297	▲45				↓Valepar再編
受取配当金	39	149	+110				↑Vale配当
販管費	▲166	▲166	±0				
その他	495	▲295	▲790				↓前年同期のValepar再編に伴う評価益の反動
基礎営業キャッシュ・フロー	1,130	946	▲184	2,000	47%	2,000	
総資産	22,601*1	23,626	+1,025				

*1. 2018年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー



主な投融資/リサイクル案件
19/3期上半期：(OUT)豪州鉄鉱石事業▲106

主要関係会社業績

	会社名	18/3期 上半期	19/3期 上半期	増減	18/3期 通期
連結	豪州鉄鉱石事業*3	542	502	▲40	1,104
	豪州石炭事業*3	263	247	▲16	463
持分法	モザンビーク石炭及び 鉄道・港湾インフラ事業	▲21	9	+30	26
	Oriente Copper Netherlands	30	▲1	▲31	26
	三井物産カップーインベストメント	▲33	▲19	+14	▲226
	Japan Collahuasi Resources	17	43	+26	63
	オールドス電力冶金	24	25	+1	51

*3. 一部損益は持分法により取込

エネルギー

原油・ガス価格上昇を主因にPAT・CF共に上方修正

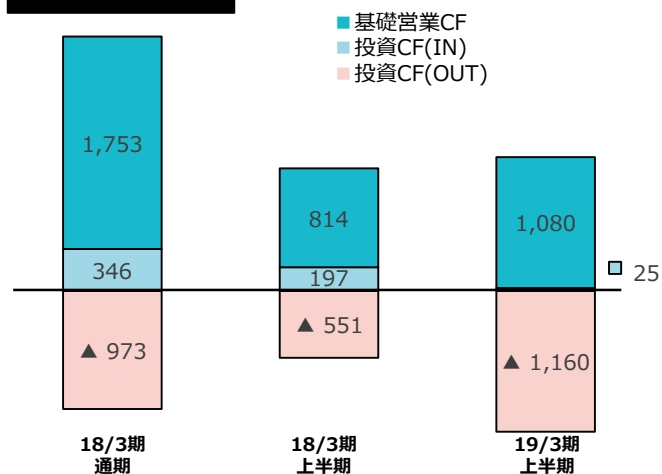
(単位：億円)

業績	18/3期 上半期	19/3期 上半期	増減	19/3期 修正通期予想	進捗率*2	19/3期 事業計画	増減理由
四半期利益	231	366	+135	900	41%	650	
売上総利益	453	711	+258				↑三井石油開発（原油・ガス価格上昇） ↑METS（前年同期の損失反動、トレーディング好調）
持分法損益	92	160	+68				↑MIMI（原油・ガス価格上昇）
受取配当金	177	230	+53				↑LNGプロジェクト6案件
販管費	▲216	▲238	▲22				
その他	▲275	▲497	▲222				↓税前利益増加に伴う法人税負担増 ↑探鉱費削減
基礎営業キャッシュ・フロー	814	1,080	+266	2,000	54%	1,800	
総資産	20,838*1	23,822	+2,984				

*1. 2018年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー



主な投融資/リサイクル案件
19/3期上半期：(OUT)石油・ガス開発事業▲536(シェール以外)
豪州AWE社株式公開買付け▲482

主要関係会社業績

	会社名	18/3期 上半期	19/3期 上半期	増減	18/3期 通期
連結	三井石油開発*3	32	98	+66	115
	Mitsui E&P Australia	8	▲2	▲10	39
	Mitsui E&P Middle East	22	31	+9	35
	Mitsui E&P USA	50	46	▲4	58
	MEP Texas Holdings	29	41	+12	50
	Mitsui E&P Mozambique Area 1	▲15	▲10	+5	▲34
	Mitsui & Co. Energy Trading Singapore	▲35	17	+52	▲44
	Japan Australia LNG (MIMI)*4	-	-	-	-
持分法					

*3. 一部損益は持分法により取込 *4. 守秘義務契約により業績非開示

機械・インフラ

一部地域での鉄道・自動車関連事業の下振れを主因にPAT下方修正
インフラ関連事業における一部案件の遅れを主因にCF下方修正

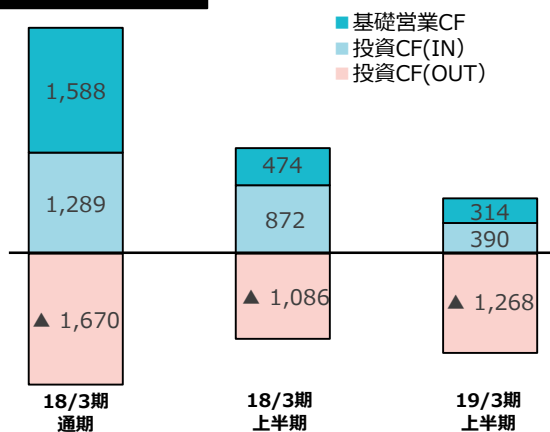
(単位：億円)

業績	18/3期 上半期	19/3期 上半期	増減	19/3期 修正通期予想	進捗率*2	19/3期 事業計画	増減理由
四半期利益	470	371	▲99	750	49%	850	
売上総利益	603	626	+23				
持分法損益	561	436	▲125				↓前年同期における英国発電所の売却益の反動
受取配当金	22	30	+8				
販管費	▲607	▲626	▲19				
その他	▲109	▲95	+14				
基礎営業キャッシュ・フロー	474	314	▲160	750	42%	850	
総資産	23,646*1	24,481	+835				

*1. 2018年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー



主な投融資/リサイクル案件
19/3期上半期：(OUT)石油製品輸送船保有会社出資
モロッコ発電事業向け融資▲167
ブラジルFPSO
チリオペレーティングリース・レンタカー事業出資

主要関係会社業績

	会社名	18/3期 上半期	19/3期 上半期	増減	18/3期 通期
連結	三井物産プラントシステム	25	11	▲14	42
	鉄道車輛リース事業会社*3	22	16	▲6	45
	産機・建機関連事業*3	10	26	+16	47
持分法	IPP事業関連会社	282	127	▲155	464
	FPSO/FSOリース事業関連会社	41	34	▲7	91
	ガス配給事業	29	30	+1	77
	Penske Automotive Group	36	42	+6	111
	トラックリース・レンタル事業会社	7	21	+14	43
	アジア自動車（製造・卸売）関連事業	34	33	▲1	82
	VLI	15	6	▲9	23

*3. 一部損益は持分法により取込

化学品

メチオニン価格下落するも、メタノール事業好調によりPATは据置き
持分法適用会社からの配当増を主因にCFは上方修正

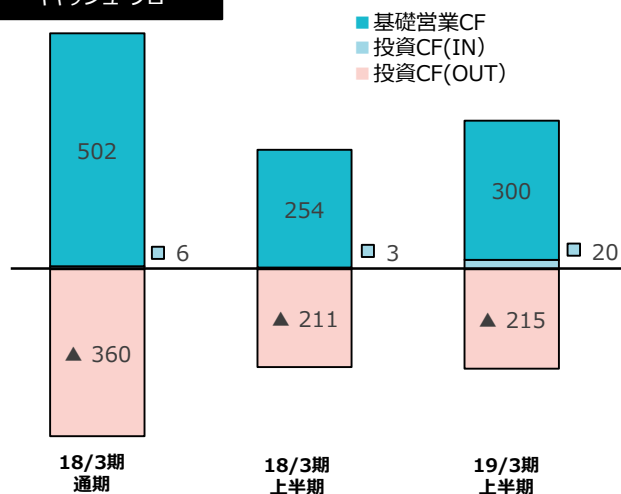
(単位：億円)

業績	18/3期 上半期	19/3期 上半期	増減	19/3期 修正通期予想	進捗率*2	19/3期 事業計画	増減理由
四半期利益	129	164	+35	400	41%	400	
売上総利益	683	720	+37				↑MMTX（メタノール価格上昇）
持分法損益	44	75	+31				
受取配当金	12	17	+5				
販管費	▲487	▲502	▲15				
その他	▲123	▲146	▲23				
基礎営業キャッシュ・フロー	254	300	+46	600	50%	550	
総資産	12,288*1	12,842	+554				

*1. 2018年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー



主な投融資/リサイクル案件
19/3期上半期：(OUT)ETC Group出資

主要関係会社業績

	会社名	18/3期 上半期	19/3期 上半期	増減	18/3期 通期
連結	MMTX	9	43	+34	29
	Intercontinental Terminals Company	24	32	+8	133
	三井物産プラスチック	19	19	±0	38
	Novus International	5	▲10	▲15	5
	Mitsui AgriScience(欧米)	19	8	▲11	17
持分法	日本アビアメタノール	14	18	+4	23

鉄鋼製品

PAT・CF共に据え置き

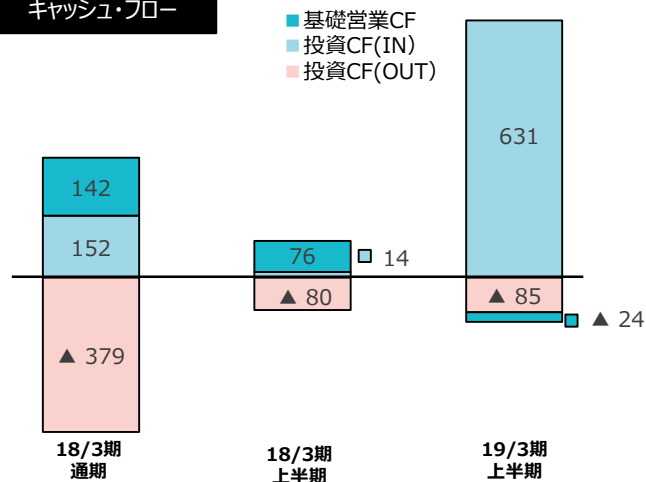
(単位：億円)

業績	18/3期 上半期	19/3期 上半期	増減	19/3期 修正通期予想	進捗率*2	19/3期 事業計画	増減理由
四半期利益	111	79	▲32	150	53%	150	
売上総利益	248	138	▲110				↓三井物産スチール（事業譲渡） ↓前年同期の一時的な取扱数量増の反動
持分法損益	75	115	+40				↑日鉄住金物産持分法適用会社化
受取配当金	13	11	▲2				
販管費	▲178	▲150	+28				
その他	▲47	▲35	+12				↑関係会社土地売却
基礎営業キャッシュ・フロー	76	▲24	▲100	100	-	100	
総資産	6,803*1	6,183	▲620				

*1. 2018年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー



主な投融資/リサイクル案件
 19/3期上半期：(IN)日鉄住金物産への事業譲渡+644

主要関係会社業績

	会社名	18/3期 上半期	19/3期 上半期	増減	18/3期 通期
連結	三井物産スチール	35	23	▲12	61
持分法	日鉄住金物産*3	-	-	-	-
	Game Changer Holdings	15	23	+8	67
	Gestamp事業会社	21	17	▲4	39

*3. 上場会社の決算発表前により業績非開示

生活産業

マルチグレイン関連引当金の取崩益を主因にPAT上方修正
マルチグレイン撤退費用減少、ブラジル農業の好調を主因にCFも上方修正

(単位：億円)

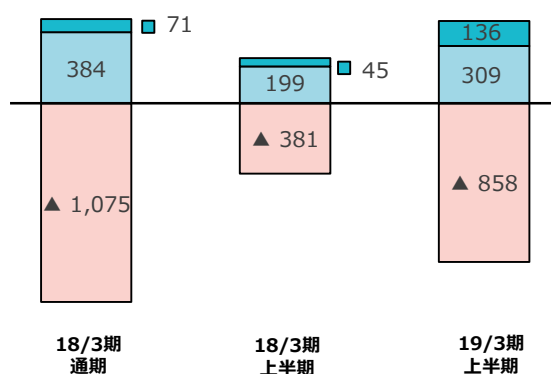
業績	18/3期 上半期	19/3期 上半期	増減	19/3期 修正通期予想	進捗率*2	19/3期 事業計画	増減理由
四半期利益	▲369	195	+564	350	56%	250	
売上総利益	685	763	+78				↑マルチグレインの前年同期不調の反動 ↑Xingu好調
持分法損益	119	130	+11				
受取配当金	25	22	▲3				
販管費	▲756	▲748	+8				
その他	▲442	28	+470				↑前年同期のマルチグレイン関連損失の反動 ↑今期におけるマルチグレイン事業撤退関連引当金の取崩益
基礎営業キャッシュ・フロー	45	136	+91	250	54%	150	
総資産	19,873*1	21,280	+1,407				

*1 2018年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー

- 基礎営業CF
- 投資CF(IN)
- 投資CF(OUT)



主な投融資/リサイクル案件
19/3期上半期：(IN)ニュージランド乳製品製造・販売会社の株式売却+120
MIMS売却+115
(OUT)MREシニア住宅取得▲414
東南アジア総合食品事業会社株式取得▲118

主要関係会社業績

	会社名	18/3期 上半期	19/3期 上半期	増減	18/3期 通期
連結	Multigrain Trading*3	▲456	122	+578	▲477
	三井農林	16	3	▲13	28
	国内流通関連事業会社	35	22	▲13	66
	三井物産都市開発	16	7	▲9	28
持分法	三井製糖*4	16	-	-	33
	WILSEY FOODS	7	18	+11	34
	IHH Healthcare Berhad	11	8	▲3	16
	PHCホールディングス*4	-	-	-	-
	エームサービス	14	14	±0	23

*3. Multigrain Tradingは2019年3月期1Qで連結損益取込を終了

*4. 上場会社の決算発表前又は、守秘義務契約により業績非開示

次世代・機能推進

FVTPL利益の増加を主因に、PAT・CF共に上方修正

(単位：億円)

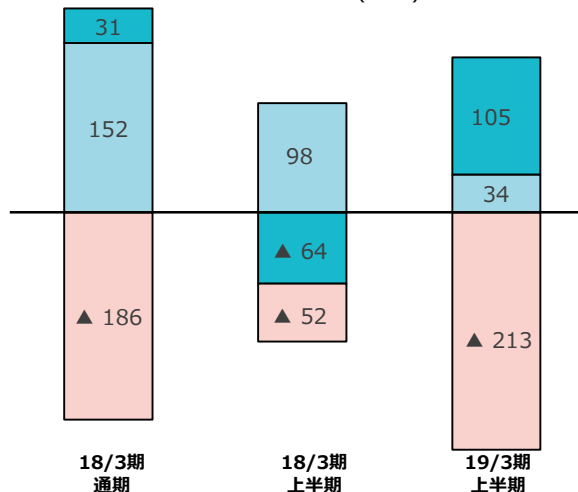
業績	18/3期 上半期	19/3期 上半期	増減	19/3期 修正通期予想	進捗率*2	19/3期 事業計画	増減理由
四半期利益	16	99	+83	200	50%	150	
売上総利益	198	364	+166				↑前年同期の新興国携帯通信事業FVTPL損失の反動 ↑今期におけるFVTPL評価益・売却益
持分法損益	41	46	+5				
受取配当金	24	25	+1				
販管費	▲260	▲262	▲2				
その他	13	▲74	▲87				↓前年同期の国内倉庫売却益反動
基礎営業キャッシュ・フロー	▲64	105	+169	200	53%	150	
総資産	6,622*1	7,128	+506				

*1. 2018年3月末

*2. 修正通期予想に対する進捗率

キャッシュ・フロー

- 基礎営業CF
- 投資CF(IN)
- 投資CF(OUT)



主な投融資/リサイクル案件

19/3期上半期：(OUT)カンボジア携帯通信事業▲101

主要関係会社業績

	会社名	18/3期 上半期	19/3期 上半期	増減	18/3期 通期
連結	三井情報	4	9	5	21
	三井物産グローバルロジスティクス	13	15	+2	23
	三井物産アセットマネジメント・ホールディングス	3	7	+4	20
持分法	Asia Pacific Mobile	▲10	▲13	▲3	▲50
	QVC ジャパン*3	-	-	-	52
	JA三井リース	17	15	▲2	40
	SABRE INVESTMENTS*3	-	-	-	-

*3. 上場会社の決算発表前又は、守秘義務契約により業績非開示

三井物産インベスターデイ2019 開催のお知らせ

現中期経営計画最終年度となる2020年3月期とその先の戦略や取組をお伝えするための機会として、本年に引き続き下記日程にてインベスターデイを開催致します。

日時： 2019年6月11日（火曜日） 午後

詳細は追って当社IR部よりご案内致します。

三井物産株式会社
IR部

360° business innovation.



MITSUI & CO.